

梓書院 5月新刊のお知らせ

本書の配本はありません。
1冊からご注文可能です。

『チャンスはハゲおやじ 久留島武彦の心を育てる名言集』

四六判 ソフトカバー 本文180頁
定価 本体1,500円+税
ISBN 978-4-87035-666-5

著者/金 成妍
監修/久留島武彦記念館



「継続は力なり」——誰もが知るこの言葉、
誰の言葉かご存知ですか？

生涯の口演動員数、推定 200 万人以上

童話を通して、教えを子どもたちへ語りきかせる“口演童話活動”を明治・大正・昭和にわたって、日本全国のみならず世界各地で行なった教育者・久留島武彦。その声はマイクを使わずとも会場の隅々にまで響き渡り、大人も子どもも夢中になって耳を傾けたという。日本の児童教育の土台を築いたレジェンドが残した言葉と軌跡から、彼の目指した「心を育てる」教育の真髄に迫る。

世間にお伽話の執筆家はたくさんいる。各種の少年少女雑誌の幾千頁を毎月埋めていく人々は、みなお伽話の執筆家である。ただ話す人が無い、話してきかせる人が少ない。自分は今切実に、子どもの膝の前の友だちがほしいと思っている。

(——本書「教育に生きる 10 の言葉 童話は人生最初の哲学書」より)

子どもたちに童話を語り聞かせ、大人へ教育について説いた彼は「日本のアンデルセン」と呼ばれた。

万人を感動させた、人生・教育の助けとなる名言集

5月初旬発売！

目次

はじめに

久留島武彦の心を育てる名言

人生を助ける 10 の言葉

教育に生きる 10 の言葉

久留島武彦の教育哲学

記憶のかけら —— 人々に残る、久留島武彦の記憶



著者略歴

金 成妍(きむ・そんよん)

韓国釜山生まれ。近代文学研究家。留学先の日本(九州大学大学院)にて、恩師から手渡された「久留島武彦追悼集」をきっかけに「久留島武彦」を知り、研究を始める。博士論文「越境する文学—朝鮮児童文学の生成と日本児童文学者による口演童話活動」で外国人初、第 48 回久留島武彦文化賞を最年少受賞。また、韓国で出版した『風光—岩谷小波俳句・俳画選集』で第 39 回巖谷小波文芸賞を最年少受賞。現在、久留島武彦の出身地である大分県玖珠町にて久留島武彦記念館館長を務める。著書に『久留島武彦評伝—日本のアンデルセンと呼ばれた男—』(求龍堂)など。

4月15日(水)締切

梓書院	注文	日付	ご担当	ISBN 978-4-87035-666-5 C0095
(貴店番線)				<h2>チャンスはハゲおやじ 久留島武彦の心を育てる名言集</h2>
	冊		様	
		著者	金 成妍	福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

日販
トーハン
楽天
きんぶん図書
にてお取り扱い
致しております。